

女性と高齢者が活躍する職場を実現して 世界トップクラスの特殊用途ドリルを生産

同社は、特殊用途ドリルを日本で初めて国産化した創業92年目の企業である。切削工具メーカーとしての基本は崩さず、ダイヤモンドなどの新素材のドリル開発やIoT活用など、常に新しい取組にチャレンジし続けている。「自社技術が世界トップクラス」と自負する約20種類のドリルに注力しており、それらの独自技術は他社の追随を許さない。ユーザーは、自動車、宇宙、航空、半導体、食品、医療など多業種に渡っている。

●所在地	名古屋市守山区花咲台2丁目901番地 テクノヒル名古屋E-3
●電話／FAX	052-739-1083／052-739-1084
●URL	http://www.iwatatool.co.jp
●代表者	代表取締役社長 岩田 昌尚

●設立	1928年
●資本金	4,000万円
●従業員数	40人



補助金活用による開発体制

焼入鋼などの高硬度材用の小径深穴ドリルをはじめ、小径工具の分野で世界最高速加工が可能なドリル（特許取得）や、最小径8μmのドリルなどを自社で開発しており、その精度、加工速度、寿命においては世界トップレベルの技術を持っている。これをさらに進化させるため、世界最先端の設備をそろえ、技術開発と生産性・品質向上に努めている。3年前からサポイン事業により、CBNコーティング切削工具を、企業、大学などと協力して開発、今後実用化していく予定である。



主力製品の小径深穴ドリル

IoT活用による生産管理体制

昨年度、IoTを活用して、主要設備の稼働状況と生産工程の管理システムを刷新、業務効率の向上を図った。現在は、生産計画と工程進捗、機械稼働状況の一元管理が可能なシステムの開発を行っており、年内にはタイや中国の拠点の稼働状況も、日本国内でリアルタイムに管理することが可能なシステムを構築する。



IoTを活用した生産管理システム

スタッフの約半数が女性と高齢者

技術分野に苦手意識のある方や、小さなお子様をお持ちの女性、70歳以上の高齢者などでも、基礎的な技術教育と、それぞれの得意分野を活かし、プライベートと両立した働き方ができる体制を構築している。産休・育休はもちろんのこと、時短勤務、時差出勤などの勤務体制や人員配置を実現したり、体に負担をかけない業務内容に絞るなど、ある程度まとまった人数で、お互いをカバーできる組織を構築している。



活躍する女性従業員